

# 大館市教育委員会會議録

日 時 令和7年1月21日（金）

午後3時30分

場 所 長木公民館

第1・第2研修室

大館市教育委員会

## 大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和7年11月21日(金) 長木公民館	午後3時30分 第1・第2研修室
2 出席委員の氏名			
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
委 員	小笠原 正 卓	委 員	真 田 かずみ
3 欠席委員の氏名			
4 委員以外の 出席者職氏名	(なし)		
5 出席した職員の職氏名			
教 育 長	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	柴 田 賢
教 育 次 長	若 松 健 寿	学校教育課長補佐	工 藤 貴 厅
教 育 監	野 呂 謙 一	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教 育 総 務 課 長	北 林 香 子	中 央 公 民 館 長	外 館 志
学 校 教 育 課 長	鈴 木 明	歴 史 文 化 課 長 補 佐	鳥 潤 幸 男
教 育 研 究 所 長	米 澤 貴 子	教 育 総 務 課 総 務 係 長	三 浦 伸 介
生 涯 学 習 課 長	畠 山 慶 子		
歴 史 文 化 課 長	関 智 仁		
教 育 総 務 課 長 補 佐	宮 崎 史 人		
6 会議録署名委員	教育長・工藤委員		
7 会 議 書 記	教育総務課 総務係長 三浦 伸介		
8 教育長報告			
(1)	第35回大館市生涯学習フェスティバルについて		
(2)	令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業について		
(3)	令和6年度大館市北地区コミュニティセンターの指定管理業務に関する評価について		
(4)	文化財ボランティアについて		
9 議 事			
協議第15号	大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案		
協議第16号	大館市民文化会館の指定管理者の指定について		
協議第17号	令和7年度大館市一般会計補正予算(第7号)案		
10 その他			
(口頭) 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス in おおだて」について 事故報告(9~11月分)			
次回	12月19日(金)	長木公民館	第1・第2研修室

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年11月21日

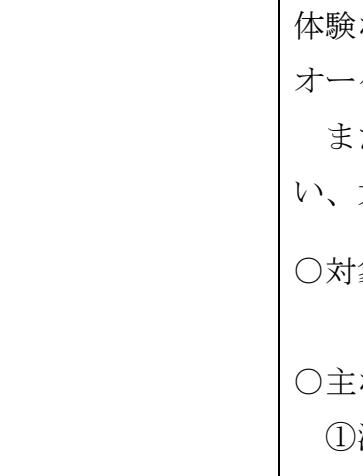
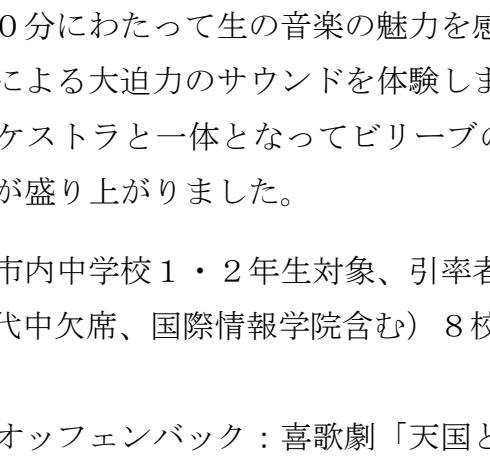
担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容
第35回大館市生涯学習フェスティバルについて	<p>1. 実施期間 9月27日及び28日をメイン開催日とし、9月から10月の2か月間(生涯学習強調月間)</p> <p>2. 会場 中央公民館 ほか11会場</p> <p>3. 期間中の来場者数 9, 476人 (前年度8, 982人／494人増加)</p> <p>4. 主な行事及び来場者数 9月6日 文化講演会「江戸中期の医者・思想家安藤昌益一八戸・大館で活動―」 (栗盛記念図書館74人) 9月12～13日 第4回市民交流センターまつり (市民交流センターほか491人) 9月13日 布谷史人&amp;ベンヤミン・ヌス・マリンバ・ピアノ・デュオ・リサイタル (ほくしか鹿鳴ホール315人) 9月28～29日 第28回北コミセンターまつり (北地区コミュニティセンター1,000人) 10月8日 メランデ・ピアノ三重奏団 (ほくしか鹿鳴ホール210人) 10月18日 桂桜祭 (大館桂桜高等学校1, 100人) 10月25日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・さんぽうフェス (秋田職業能力開発短期大学校216人)</li> <li>・桜楯館フェスタ「みんなの展覧会・科学教室」 (大館鳳鳴高等学校定時制課程 桜楯館229人)</li> <li>・第21回大学祭「和～人と人とがつながる～」 (秋田看護福祉大学380人)</li> </ul> </p>

## 教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年11月21日

## 担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容
<p>令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業について (一般財団法人大館市文教振興事業団主催 文化庁委託事業)</p>	<p>市内の中学生を対象とした仙台フィルハーモニー管弦楽団によるフル・オーケストラのコンサートを、11月12日(水)にほくしか鹿鳴ホールで開催しました。</p> <p>文化庁の委託事業として実施したもので、文化施設を会場とすることで鑑賞の場を学校の外へ広げ、複数の学校で合同開催をするなど、より幅広い体験の機会を創出するとともに将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。</p> <p>本格的なクラシック音楽の鑑賞のほか、中学生の指揮者体験など約90分にわたって生の音楽の魅力を感じ、フル・オーケストラによる大迫力のサウンドを体験しました。</p> <p>また、オーケストラと一緒にビリーブの合唱を行い、大変会場が盛り上りました。</p> <p>○対象 大館市内中学校1・2年生対象、引率者 (田代中欠席、国際情報学院含む) 8校900人</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①演奏曲 オッフェンバッカ：喜歌劇「天国と地獄」序曲よりカンカンほか4曲</li> <li>②指揮者体験(3人)</li> <li>③合唱共演 ビリーブ</li> <li>④楽器紹介コーナー</li> </ul>  

## 教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年11月21日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
令和6年度大館市北地区 コミュニティセンターの 指定管理者業務に関する 評価について	<p>大館市北地区コミュニティセンター指定管理者基本協定書第10条に基づき、指定管理者から提出された令和6年度大館市北地区コミュニティセンター指定管理業務に関する自己評価書について、北地区コミュニティセンター運営委員会にその妥当性を諮問し、同委員会からの答申に基づき総合的な評価を行いました。</p> <p><b>1. 評価項目（個別業務評価）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 管理業務（4項目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内利用案内がわかりやすく行われているか</li> <li>・施設の利用状況</li> <li>・利用者の安全が配慮されているか</li> <li>・環境への配慮がされているか</li> </ul> </li> <li>(2) 使用許可及び料金収受（3項目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用申請書の受付・許可が適正に行われているか</li> <li>・利用料金が適正に収受されているか</li> <li>・利用料金の減免申請が適正に行われているか</li> </ul> </li> <li>(3) 施設の維持・保全（4項目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の施錠と鍵の保管が適正に行われているか</li> <li>・各設備の保守点検</li> <li>・施設敷地内の環境整備（施設内清掃、草刈り・除雪等）</li> <li>・小破修繕の発生及び処理</li> </ul> </li> <li>(4) 利用者対応（3項目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人員の配置</li> <li>・利用者に対する職員の接遇</li> <li>・利用者の利便性の向上が図られているか</li> </ul> </li> <li>(5) 自主事業（3項目） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業計画書が提出されているか</li> <li>・自主事業が積極的に行われたか</li> <li>・事業の内容などの周知、広報を行っているか</li> </ul> </li> </ul> <p><b>2. 評価基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A あらかじめ設定された計画等を上回る成果が得られた場合</li> <li>B 概ね事業計画等どおりの成果が得られた場合</li> <li>C 事業計画等を下回りそれを達成するための努力を要する場合</li> <li>D 実施している事業・サービスそのものに問題が認められ改善を要する場合</li> </ul>

### 3. 評価

評価項目	指定管理者自己評価	運営委員会評価
(1)	A	A
(2)	B	A
(3)	A	B
(4)	A	A
(5)	A	B

### 4. 総合評価

「A」

10月31日付けで指定管理者「株式会社やたて」へ通知。

### 5. 運営委員会の総括

年間66,499人の利用者があり、令和5年度と比較して990人増加した。また、目標としていた年間60,000人を達成した。

5つの評価項目について、おおむね評価基準を達成した。

除草・伐採等の環境整備や軽微な施設修繕については、指定管理者が自ら行っている。駐車場アスファルトの穴埋めについても同様だが、利用者からの指摘も多く、B評価とした。

自主事業について、センターまつりでは、調理師免許を持つ職員不在のため北コミ食堂が開催できなかった。他ブースで盛り上がりを見せたほか、愛犬しつけ教室をはじめとした主催教室の人気も高く、全体としてB評価とした。

### 6. その他

有浦小学校児童の送迎場所として使用されているが、スピードを出して通り抜ける車両があり危険。再度、注意喚起を講じる必要がある。

## 教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年11月21日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
文化財ボランティアについて	<p><b>【環境整備ボランティア】</b></p> <p>10月25日（土）、完成したニホンザリガニ第2人工生息地にて、市民ボランティアによる環境整備イベントを開催しました。</p> <p>当日は16名が参加し、特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除や、植栽植物に巻き付いたつる性植物の除去作業を行いました。オオハンゴンソウは繁殖力が非常に強く、一度の作業では根絶が難しいため、来年度以降も継続して行う予定です。</p> <p>作業終了後には、水路でニホンザリガニの観察会を実施し、成体2匹と幼体2匹をそれぞれ確認しました。</p> <p>開催直前の募集にもかかわらず多くの方にご参加いただき、天然記念物を守ろうとする市民の高い意識が感じられました。今後もこのようなイベントを継続し、文化財保護への関心を更に高めてまいります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オオハンゴンソウ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駆除作業の様子</p> </div> </div>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <p>ガイドの様子</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>おもてなしの様子</p> </div>	<p><b>【花岡小学校児童のガイドツアー】</b></p> <p>10月31日（金）、鳥潟会館にて花岡小学校の児童による「花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！」が開催されました。</p> <p>ツアーでは、児童たちが見学者に鳥潟会館の見どころを紹介し、茶席コーナーや花岡ふるさとカルタコーナーでおもてなしを行いました。</p> <p>「鳥潟会館や花岡の歴史のすばらしさを伝え、地域を盛り上げたい」という児童たちの思いが伝わる、心温まるツアーとなりました。</p> <p>見学者からは、「分かりやすい」「よく勉強している」「子どもたちの笑顔がすばらしい」などの感想が寄せられ、児童たちは来年度の活動への意欲をさらに高めています。</p> <p>児童たちはツアー当日だけでなく、ポスターやリーフレット、PR動画の作成など、広報活動にも積極的に取り組んでおり、歴史を学ぶことを通じて地域文化の継承に貢献することが期待されます。今後もこの活動を継続してまいります。</p>

議　事　の　経　過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項の説明をお願いします。</p>
各課長	<p>「(1) 第35回大館市生涯学習フェスティバルについて」  「(2) 令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業について」  「(3) 令和6年度大館市北地区コミュニティセンターの指定管理業務に関する評価について」  「(4) 文化財ボランティアについて」  を、資料により報告)</p>
教育長	ご意見、ご質問等はござりますか。
委員	<p>花岡小学校の児童によるガイドツアーについて、いい経験をさせていただいいたと思っています。初めのうちはぎこちなかつた子どもたちの説明が、見る見るうちに上手になっていく様子を見て、非常に頼もしいと感じました。</p> <p>鳥潟会館には何度か足を運んでガイドの方から説明を受けたことはあるのですが、子どもたちから聞くとまた別の角度からいろいろと知ることができました。過去にも行われたことがあり、久しぶりに再開した企画だと伺いましたが、本当に素敵なガイドツアーだったと思います。</p> <p>やはりこういったことから子どもたちは街を好きになっていき、誇りを持っていくのだろうと感じました。今回の企画は、子どもたちが地域の誇りと自信を養ういい機会になったのではないかと思っています。</p>
委員	<p>私からも花岡小学校のガイドツアーについてです。本当に子どもたちが頑張るいい姿を見せてもらいました。</p> <p>ところで、今回は学校単独ではなく歴史文化課とのコラボだったわけですが、具体的には行政としてどのような関わりがあったのか教えてください。</p>
歴史文化課長	<p>歴史文化課は管轄する範囲が非常に広く、歴史だけでなく自然や文化等も担当しておりますが、昨年の3月に行われた博物館運営審議会において、ボランティアを募ってはどうかという意見がありました。</p> <p>そこで、当課でも思案しまして、今年の4月に行われた市長との政策協議において、ボランティア制度を進めていきたい旨を市長に提案し、その後方</p>

	<p>策を模索していたところ、タイミングよく花岡小学校の校長先生からガイドツアーをやらせていただけないかという相談を受けました。</p> <p>当課としましても、ボランティア制度を進めるということも大事ですが、やはり自分たちの宝を守り、次世代へ更に継承していくという意識を持ってほしいという想いがありましたので、是非やりましょうとこちらからも校長先生にお願いして、今回の企画が開催されたのです。</p> <p>もちろん、一度限りで終わってしまっては意味がありませんので、子どもたちは入れ替わっても花岡小学校のイベントとして代々継承され、花岡地区の歴史文化が子どもたちに伝わっていくことを目指して、今後も継続していきたいと考えております。</p>
委員	<p>先日学校訪問等を行った際のお話の中でも、それぞれの学校で地域との関わりを大事にした活動をされているとのことでしたが、歴史や伝統文化の継承に関しては子どもが少なくなってきたため難しいと伺いましたので、やはりその部分においても行政側がサポートしてあげられる機会があればいいのではないかと思います。</p>
歴史文化課長	<p>伝統芸能に関しましても、継承者が少なくなってきて、どうしても学校、特に小学校の児童に頼らざるを得ないのが実情です。</p> <p>ちなみに伝統文化ではないのですが、実はニホンザリガニの第2人工生息地について、現在城南小学校とのコラボを企画しております。城南小学校が作ったふるさと支援の中に、ニホンザリガニのチームも作ったということで、例えば現在第2人工生息地に説明板や文化財保護に関する周知のための案内板を設置することを企画して、既に鳳鳴高校にお声がけをしていたのですが、城南小学校も一緒にやりませんかとお声がけしているところです。</p> <p>地域的に難しい学校もありますが、文化財を活用した活動を各小中学校と何か一つずつ行いたいというのが私たちの目指すところです。</p>
委員	何かいい形で協働してやっていけるといいと思います。
教育長	今回は花岡小学校とWin-Winの関係だったということでしたが、学校側でも地域素材や伝統文化の素材との関わりを望んでいる可能性はありますから、声をかけてみるというのは決して悪いことではないと思います。その中で花岡小学校のような事例も出てくる可能性もありますので、よろしくお願いしたいと思います。
委員	生涯学習課に質問です。生涯学習フェスティバルでは、2か月間本当に様々な催しが行われていてすばらしいと思いました。その中に10月18日の桂桜祭が含まれていますが、市内にはその他にも鳳鳴高校や国際情報学院高校がある中で、今回桂桜祭が生涯学習フェスティバルの行事の一つになった経緯について、桂桜高校とどのような関わりがあったのか教えてください。

生涯学習課長	<p>桂桜高校の生徒たちは、以前より様々な体験コーナーや展示コーナー、ファンションショーなどを行っていまして、芸術文化というジャンルとして今回生涯学習フェスティバルの行事に組み込ませていただきました。桂桜高校以外の高校につきましても、この機会にやっていただけるのであれば、一緒に盛り上げていきたいと思っております。</p>
委員	<p>生涯学習課の文化芸術鑑賞・体験推進事業についてです。本当に毎年魅力的なプログラムを子どもたちに提供してくださっていて、私の子どもも参加させていただきました。普段は流行りの音楽しか聴かないのですが、「やっぱりクラシックっていいな」とつぶやいていたので、心に響いているのだということを妻と一緒に実感しました。</p>
	<p>事業の目的にも記載されていますが、これがきっかけとなって将来その方面を目指そうと考える子が出てくる可能性もあると思いますので、是非文化庁にも続けてほしいですし、大館市の子どもたちに体験の場を提供してほしいと思います。</p>
教育長	<p>それから文化財ボランティアについて、実は昨日大館市景観シンポジウムに出席してきたのですが、岩手県内で景観についての授業を行っているNPO法人の方がいらしていて、その方がおっしゃっていたのが、子どもたちにタブレットを持たせて、散歩をしながら自分が好きな景色や残念な景色、面白い景色を見つけて、それぞれ理由を書いてみんなで紹介し合うと、その刷り込まれた記憶が「自分はここで育ったんだ」という地域愛になっていくというお話をしました。</p>
	<p>花岡小学校のガイドツアーの記憶も、子どもたちにとって一生忘れない記憶になると思いますので、この体験も郷土愛につながっていくし、文化財のあるなしに関わらず様々な場所で多くの体験をすることができれば、つながっていくとも感じました。</p>
各課長	<p>先ほど教育長もおっしゃっていましたが、それぞれの学校でこういう取り組みが広がっていくのはいいことだと思います。あとは多忙な学校経営の中でどこに落とし込んでいくかということになりますが、昨日のシンポジストの方もおっしゃっていましたが、そこはやはりマンパワーとして外部の方に関わってもらえるかどうかが非常に大きいですから、横のつながりを大事にしていきたいと思いました。</p>
	<p>ほかにございませんか。</p>
	<p>それでは議事に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>(「協議第15号 大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」</p>
	<p>「協議第16号 大館市民文化会館の指定管理者の指定について」</p>
	<p>「協議第17号 令和7年度大館市一般会計補正予算（第7号）案」</p>
	<p>を、資料により報告)</p>

教育長	委員の皆さんから何かございませんか。
委員	生涯学習課にお伺いします。地域限定保育士という資格を初めて聞いたので調べてみました。それを続けると地域限定というのが外れて保育士になることができるということでしたが、これは放課後児童クラブで子どもたちの面倒を見てくれる方に、地域限定保育士の資格が必要になってしまふという意味ではないですよね。
生涯学習課長	現行の条例では保育士の資格が必要としているところを、地域限定保育士でもよいという内容に変更するということです。保育士の人材確保のために、放課後児童クラブで勤務することで、保育士と同じ資格を4年後に得られるという解釈です。勤務できる人の幅が増えるということです。
委員	ということは、保育士を目指す方が地域限定保育士の資格を取得して、放課後児童クラブで3年間勤務すると保育士の資格を取得できるという捉え方もできるのですか。
生涯学習課長	そういうことです。
教育長	保育士というのは全国共通の資格ですが、地域限定保育士というのは秋田県で採用試験を受けた場合、秋田県だけの資格ということですね。
生涯学習課長	はい。それで3年間勤務すると、4年目以降は全国で保育士として勤務できるということです。
教育長	正式な資格として認められるということですね。
生涯学習課長	そうです。
委員	12月補正予算について、報酬が上がっていますが、毎年この時期にこれくらい上がるものなのでしょうか。
教育次長	当初予算要求の段階では、令和6年度現在の給与額で予算化しております。令和7年度になり任用されると、昇給等もありますので差額が出てきます。それを今回12月で補正するという形です。4月に任用された差額分を12月で補正するというのが慣例となっております。
教育長	これは4月に遡って上がるということですね。
教育次長	そうです。
教育長	ほかにございますか。

	ないようですので、その他に移ります。
生涯学習課長	(「『共に学び、生きる共生社会コンファレンス in おおだて』について」を、口頭で報告)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	これは毎年行われているなんでも発表会の拡大版というイメージですか。
生涯学習課長	なんでも発表会は午前中で、午後は今年初めて行われます。
教育長	ほかにございますか。 では、予定されていた議題については以上で終了いたします。 次回の開催日程についてお願ひします。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	委員の皆さんから何かございますか。
委員	今年度の学校訪問が4分の3程度終了したところですので、少しお話をさせてください。今回、教室ではなく中央公民館を会場に、英語の研修授業の企画を参観しました。小・中・高とそれぞれに英語の授業がありますが、これまで一連の流れで参観するという機会はありませんでしたので、非常にいい機会だったと思います。 その中でも一番元気があつていい授業だと思ったのは小学校で、長木小学校の先生と子どもたちのやり取りに、私たちギャラリーも巻き込んで授業を行ってくださいました。子どもたちはウォーミングアップから始めるのですが、最初にギャラリーに英語で話しかけてくるのです。それから徐々に授業が構築されていき、また最後にギャラリーと会話するという流れでした。 子どもたちは、自分たちが今一生懸命に取り組んでいる長木地区のアジサイという素材を基に話を組み立て、ギャラリーと会話をして最後にまとめを行っていました。自分の会話力を高める授業であり、非常にアクティビティな、そしてプログレッシブな内容だったので、私は本当に評価したいと思っています。やはりふだん接することがない人と会話をするということは、コミュニケーション能力を高めるためには重要なのだと思います。 実は私が大切にしているシールがありまして、携帯電話の後ろに貼ってある「good job」と書かれたはちくんのシールなのですが、これは子どもたちと会話した際に、「あなたの英語いいですよ」という意味でもらえるものです。 子どもたちから評価をしてもらえて、更にシールも貼ってもらえるという、ご褒美付きの非常に面白い企画でした。もちろん中学校と高校もいい授業をされていたのですが、逆に小学校でこれほど楽しんで会話を覚えた後で、い

	<p>わゆる中1ギャップや高1クライシスが起こってしまうのではないかという心配もしています。</p> <p>せっかく話しかけて楽しいし、話しかけられて楽しいし、これがずっと続していくといいなと子どもたちが思っているのですから、その流れを止めないでほしい、そんな教育を続けてほしいと感じました。</p> <p>当日講演されたNHK英会話の先生のお話を聞いても、やはり最終的には会話をする力などにたどり着くことになると思いますので、小学校の子どもたちが実際に体験したことが、中学校・高校と継続して進んでいけるような仕組みができればいいと思いました。</p>
教育長	<p>今年は大館市で比較的大きな研究大会が英語のほかに道徳もありまして、桂城小学校の授業が絶賛されました。もちろん中学校も良かったのですが、小学校は元気がなくて非常に良い授業でした。</p> <p>こちらも外部から見に来た方々を巻き込んでの授業なのですが、大館は様々なところから視察に来てますから、子どもたちもそれをやりやすい環境にあるはずなのです。</p> <p>ですから、外部から来た人も意図的に学習材とみなして使っていけるようになればいいのではということを以前から話していましたので、少しずつ広がっていけばいいと思っています。どうぞご期待ください。</p>
委員	<p>今年度も学校訪問をさせていただきありがとうございました。今回それほど数は多くなかったのですが、どの学校に行っても大館型の授業を進められていて、子どもたちが問題を解決していく過程や学ぶ力を本当に身につけていっていると感じます。</p> <p>大館は小学校と連携して、幼保の段階からそういう力を育てていますが、そうすると高学年から中学校へ進んでいくにしたがって、子どもたち自身が学びの質を見極める力も身につけていっているのではないかと思うのです。</p> <p>そして、先生方が十分に頑張っているのは承知した上で少しレベルが高い要求になるのかもしれません、先ほどお話しのあった英語や道徳の授業のように、子どもたちが本当に「やった!」「学んだ!」と満足感を味わえる質の高い授業を今後も目指してほしいと願っています。</p>
教育長	<p>そうですね。私も毎年全ての小中学校を見ていますが、教員の意識の中に、集団の学びということを意識し過ぎる余り、全体として一つの答えにたどり着けばそれでよしとする傾向がないか、中には全く答えを持っておらず満足できていない子どもがいるはずだということは、確認していかなければいけないと思っています。</p> <p>全体として一つの学びを作っていくがゆえに、本当はもっと突き抜けていく子どもがいるのに、それをあえてそこで止めてしまっているようなことがないか、所長訪問の際など折に触れて話すようにはしてきました。</p>
委員	先日山瀬小学校で見た授業で、いつものように子どもたち同士で指名して

	<p>主体的に進めていたのですが、ある快活そうな子どもが次の子をなかなか指名できなかったのです。その子なりに考えて、様々な思いがあつて指名できなかったのだと思います。そして先生が、「じゃあ先生が指名しようか」と言つたら、本当にほつとしたような満面の笑顔を見せたので、やはりそこが教師の出番なのだと感じました。</p> <p>子どもたちが主体的に進めていても、一人一人を見てあげるのが教師の役目であり、本当に自信がなさそうに手を挙げている子がいたら寄り添つてあげることが、誰一人置き去りにしないというところにつながるはずですので、型どおり進めればいいということではなく、その部分をもう少し考えることができれば次のレベルに進むのではないかと思います。</p>
教育長	<p>教育の根本的な目的は一人一人なので、そこは見失ってはいけない部分ですね。</p>
委員	<p>そうですね。突き詰めるべきなのは形ではなく理念だと思うので、そこは共通理解していけたらと思います。</p>
委員	<p>この間山瀬小学校を訪問したのですが、他県で採用されてそこから大館に来て1年目という先生の授業も拝見しました。やはり時間帯によっては大変なところもありましたが、裏を返すと大館の子どもたちが受けている授業のレベルが高いということを改めて実感しました。</p> <p>校長先生から伺ったお話では、初任の先生をサポートしていくことも非常に大事だということをかなり強調されていたように感じたので、教育委員会としてもそういう先生方のサポートを是非お願いしたいと思います。</p> <p>本当に志を持って、秋田県で先生になりたいと来てくれた方々だと思うので、そういう方々を支えて、そして子どもたちも元気に育ってくれたらいいと感じました。</p>
委員	<p>夏の終わり頃に、山瀬小学校で初めて子どもたちの授業を見せていただいたのですが、本当に子どもたちがはつらつとしていて、大館市の掲げている共感的・協働的な学び合いというものを肌で感じるような一日で、感銘を受けました。</p>
教育長	<p>皆さんから学校訪問の感想を聞くことができて非常によかったです。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	会議終了時刻　午後4時30分